

# 文協通信

第72号

2021・10・1

(発行)高野 宗佳

(一社)町田市文化協会

(編集)倉橋幸二

題字・平野南秋

## 「念すれば通す」

(一社)町田市文化協会会长 高野 宗佳

「清風拂名月 名月拂清風」月の秋さながらの好季節となりました。皆様にはご清安にお過ごしの事と拝察申し上げます。



7月1日発行予定でした文協通信もコロナ感染拡大の影響を受け、考慮の結果万止むを得ずお休みを頂きました。緊急事態宣言も再延長され様々な活動が縮小や延期となりましたが、その中で夏季吟詠大会・町田市コンテスト展・書道連盟展の開催等があり、9月11日には二度の延期の末当会研修事業「江戸文化の伝統を楽しむ会～寄席紙切りの世界～」を挙行することが出来ました。

各団体それぞれに、コロナ感染予防に創意工夫をされ大変なご苦労を重ねての開催であり、その信念と情熱に心より敬意を表するものでございます。

又、第43回町田市民文化祭“豊かな出会いを‥！”の開催に当たりましては、町田市はもとより共催の町田市文化・国際交流財団のご協力、社会福祉協議会・コンベンション協会・商工会議所・農業協同組合その他賛助会員皆様のお励ましにも心より感謝申し上げます。

市民文化祭は市民の為の文化祭であり、文化を広め町田市の文化力を上げるための活動と心得ております。市民ホール改修工事に伴い来年の市民文化祭の開催につきましても、町田市のご支援を期待するところでございますが、何れにせよ文化振興の為に更に精励する所存でございますので、引き続きご理解ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

コロナ感染が一日も早く収束し、安寧な日々となります様に念じつつ、ご挨拶とさせて頂きます。

## 顧問就任のご挨拶

（一社）町田市文化協会顧問 森 和秋

（発行）高野 宗佳

（編集）倉橋幸二

題字・平野南秋

## 理事長就任のご挨拶

(一財)町田市文化国際交流財団理事長 高橋 豊



日頃より、当財団の活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。「文協通信」の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、ワクチン効果もあり少しずつではありますが、明るい光が見えてまいりました。今まで1年半以上も続いたコロナ禍の中、思うように活動ができなかった文化団体の皆様の苦労は大変なものであったと推測されます。当財団でも施設利用のキャンセル、ホールでの事業の中止や延期など、今まで経験したことがない状況が続いてまいりましたが、いつまでも後ろ向きではいられません。この間に経験したことをプラスに捉え、新しい文化活動を推進していきたいと考えています。これからは、町田市文化協会の皆様のお力添えをいただき、町田市の文化の更なる発展と、明るい話題を市民の皆様方にお届けしていくよう頑張ります。

ご挨拶が遅くなりましたが、令和3年6月29日に当財団の理事長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。今後は、皆様方とともに、町田市の文化・芸術活動の振興に寄与してまいります。

最後に、町田市文化協会の益々のご発展と会員の皆さまのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



（一社）町田市文化協会顧問 森 和秋

この度一般社団法人町田市文化協会の顧問に就任しました森和秋です。

私は、町田市役所を定年退職した2014年4月から一般財団法人町田市文化・国際交流財団に着任して、和光大学ポプリホール館長、事務局長、専務理事の仕事をさせていただき今年6月に退任しました。在職中は、文化協会に加盟の各団体が町田市民ホール、和光大学ポプリホール鶴川の町田市文化施設を気持ちよく気軽に利用できるよう施設運営に努めてまいりました。

また、町田市の文化の向上のために、文化協会の皆様とともに文化祭の開催をはじめ様々な文化事業に取り組んでまいりました。

これからは文化協会の顧問として、文化協会の発展に寄与してまいります。

よろしくお願ひ申し上げます。





## 江戸文化の伝統を楽しむ会

町田市文化協会理事 池田 博一

9月11日、レンブラントホテル東京町田において、協会研修事業として、「江戸文化の伝統を楽しむ会」を実施いたしました。緊急事態宣言下のもと、三密を回避しながら、私たちの活動を安全に実現できるよう消毒・検温・一席ごとにアクリル板の配置・開扉など徹底した管理を行いました。

当初は、50人ほど集まればと思っていたが、当日には、80人を超える参加者があり出演者とともに、このような事業を待ち望んでおられたと実感いたしました。

冒頭、協会の加盟団体による演奏・演舞やシャンソンコンサートなどで賑わし、トリは、江戸時代より伝わる「寄席紙切り」の第一人者、林家樂一さんによる「江戸文化の伝統を楽しむ会」としました。

前段では、コーディネータをお願いした三遊亭らん丈さんと樂一さんの楽しくわかりやすい「お話」で江戸時代から伝わる寄席文化をお話しいただき、後段は、会場のお客様より自由にお題をいただき、当意即妙の掛け合いと鮮やかなハサミさばきで次々と品格と風情のある作品をあつという間に完成されました。いらした皆様は短いお時間でしたが、江戸情緒に浸り、お楽しみいただけたようで、和やかな表情で帰られました。

昨年と同じくコロナ禍のなかでも対策をしっかりと練って実施し、研修事業の趣旨と目的を果たせたと感じました。

## 沁みじみと文化の秋に感銘

町田市俳句連盟会長 小林 絹子

九月末日迄の緊急事態の延長などと、暗い情報ばかりが錯綜し明るい話題の少ない昨今、巧妙な「紙切り芸」を堪能させて頂き有難うございました。

開催に当たりましては種々と大変なご苦労がお有りだったと思います。その際の感謝を込め感動を拙い乍らも俳句に詠ませて頂きました。

### “紙切りの 変幻自在 爽やかに”

はさみ一丁で織りなす芸に見惚れ思わず身を乗り出す程に日本文化の伝統芸の深さを沁み沁みと知りました。その前座に開催されました文化協会の有志の演舞にも心を打たれたのです。例えますと、マ・シャンブルのご披露の歌のフレーズ…悔いのなく生きる尊さ、生きる心の有り様等々…、心に染み入る歌詞と歌声に情念までが伺われ、生きいる勇気さえ頂ける想いでした。

### “明日への 夢を抱きて 秋うらら”

又、吟詠連盟の演者の皆様の透け来る吟唱の美声や自分には着こなせぬ和服姿よりの朗々たる吟詠に酔い痺れる程でした。

### “さやけしや 背筋きりと 朗唱す”

以上の様にコロナ禍の中でも素晴らしい芸能を鑑賞させて頂きました喜びを胸裡に帰途に着いたのでした。

### “憂き疫病 暫し忘るる 葉月尽”

(九月十一日 江戸文化の伝統を楽しむ会にて)



「茶の湯」のお題



「鬼滅の刃」のお題



「恐竜」の紙を貰う



紅白の衣装でシャンソンを熱唱



## 夏季吟詠大会開催の無事に安堵 ————— 町田市吟詠連盟理事長 川添 吟照

7月18日(日)コロナ禍の状況下で開催すべきか否かの意見は有りましたが、コロナ感染予防対策を徹底して夏季吟詠大会を木曾山崎コミュニティセンターで開催致しました。受付では、検温、手指消毒、座席は椅子の間隔を保つと共に、前列と後列の座る位置をずらすなどソーシャルディスタンスを確保し、ホール内の換気のため出入り口を開放しました。さらに吟詠時は息苦しさも有りますが、吟者はマスクをして吟詠しました。吟者が終わるごとにマイク部分等の消毒を行ってから次の吟者が吟詠するなど理事会で検討したことを忠実に実行して行いました。式典ではご来賓の町田市文化協会会长の高野宗佳様の祝辞の中で「コロナ禍中、文化事業が中止になる中で、感染防止に万全を期して創意工夫をされ夏季吟詠大会が開催されました事を心よりお喜び申し上げます。吟詠連盟の皆様の吟道に対する誇りと情熱に敬意を表しますと共に、改めて感動を致しましたところでございます。」と頂きました。お陰様で8月10日の理事会では感染者が出たという話は有りませんでしたので、無事だったと安堵し胸をなでおろしました。



式典時の高齢者表彰



高野会長・新井相談役・会員



緑神流の合吟

## NPO町田演劇鑑賞会の紹介 ————— 町田演劇鑑賞会会長 大谷 光雄

町田演劇鑑賞会は、プロが演ずるいろいろな演劇を地元町田でずっと観続けられたらいいね、ということで1985年に立ち上げられました。以来歳月を重ね、今年は37年目になります。演劇との出会いを通して人生を見つめ、人と人との絆を深めていく、また、移ろいゆく社会と自分との関係を見つめ直し、一人ひとりが心豊かな日々を過ごしていく、そんな目的を持って活動を続けています。演劇創造集団(劇団及びプロデュース団体等)による作品、現代劇、時代劇、和もの洋ものさまざまな演目を1年に6本、町田市民ホールで観続け、この12月の「マクベス」で198本目となります。

会は会員制で、3人以上のサークルを作り、サークルの希望に基づいて6本のうちの希望の作品の上演までの準備、会の広報、入会のお説明などを順番に手分けして行っています。37年の間には、山あり谷ありの歴史が刻まれていますが、会員一人ひとりの会を支える熱い気持ちと演劇が観たいと思う地元の方々の気持ちとが結びついて、この会は支えられてきました。この度、町田市から「多年にわたる文化芸術の振興に尽力」としてご承認を賜り、表彰していただきましたのも、偏に演劇を観続けたいという皆様情熱の賜物と受けとめさせていただいている。これから先、50年先、100年先にも演劇鑑賞会は観劇を積み上げてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



活動する役員メンバー

## 「第27回町田市展」の開催を終えて ————— 町田市美術協会会长 坂本 誠司

9月1日～5日の日程で2年振りに「第27回町田市展」を開催し、無事終了することが出来ました。開催直前の8月に入って新型コロナ感染が急拡大し、開催が危ぶまれましたが、多くの方々からご支援を頂き、そして熱心な出品者の皆さんに背中を押して頂いて、何とか開催にこぎ着けることが出来ました。

最終的には作品点数では若干前回を下回ったものの、内容的には前回に優るとも劣らない多様な素晴らしい作品が集まりました。特に工芸部門では陶芸が減少したものの、木工品等々これまでには無かった新しいジャンルの作品も加わり、写真点数も倍増して、工芸部門全体が大きく変わりました。

多くの来場者の皆様からも”市展が何となく変わったね”という感想を頂きました。これからも変わることを恐れず、多様性と活気のある美術展を目指していきたいと思っております。今後とも、文化協会の皆様のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



ゼルビー君が授賞式にきました



工芸部門リーダーの岡島副会長



副市長と高野会長



子供たちに人気の「百面相」の木工作品

## もの知り今昔物語

町田市文化協会理事 加瀬 友一

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| 1 上野の不忍池は元は競馬場だった                       | 11 日本の城は城跡公園含め2万～3万カ所もある              |
| 2 浅草の正門に飾ってある大提灯は松下幸之助の<br>ポケットマネーで寄贈した | 12 盛岡のわんこそば大会での優勝者は570杯、<br>食べたのは女性です |
| 3 新宿伊勢丹の2階は昔アイススケート場だった                 | 13 ウナギの生は毒である。そのため加熱する                |
| 4 渋谷のスクランブル交差点の上にはロープウェーがあった            | 14 世界の美術館は90万個所あるそうです                 |
| 5 ビニール傘の発祥地は日本である                       | 15 四谷の防衛省の中にはスターバックスや吉野家が<br>あるとのこと   |
| 6 天ぷらの発祥国はポルトガルである                      |                                       |
| 7 日本庭園の第一号は京都の天龍寺である                    |                                       |
| 8 深谷駅は渋沢栄一の設計で旧東京駅にそっくりです               |                                       |
| 9 日本の漁港の多さは世界一                          |                                       |
| 10 高尾山の登山客は世界一(年間300万人)                 |                                       |

それでは次回を  
お楽しみに



## 2021年町田市一般表彰受賞

「2021年町田市表彰式」が9月18日町田市文化交流センターで行われ、長年にわたる文化芸術功労により町田演劇鑑賞会が表彰されました。大谷光雄会長は「37年間にわたる活動が評価されたのも会員皆さんの努力のお陰、60歳以上が9割と会員も高齢化しているが660人の会員も1000人まで増やしたい」と抱負を話しました。



## (一社)町田市文化協会臨時総会のお知らせ

日 時：令和3年12月6日（月）10時～  
会 場：町田市文化交流センター

## (一社)町田市文化協会新春文化の祭典 in 鶴川

日 時：令和4年1月8日（土）～10日（月・祝）  
会 場：和光大学ボブリホール鶴川

## 個人・団体情報

### 町田茶道会からのご案内

#### ■月例茶会「お茶席の設えを楽しむ茶会」

日 時 10月17日（日）「広間席 山吹」 席主：大日本茶道学会 有賀仙陽  
11月21日（日）「広間席 山吹」 席主：裏千家 北見宗晴  
12月12日（日）「広間席 山吹」 席主：裏千家 青木宗裕  
会 場 プラザ町田ビル 町田市文化交流センター5階  
時 間 ①10:00～ ②10:50～ ③11:40～ ④12:30～  
⑤13:20～ ⑥14:10～ ⑦15:00～  
参加費 一席1,000円（おもてなしの席もお楽しみ頂けます）  
申 込 予約が必要です。お名前・住所・電話番号・ご希望の時間を茶会の  
10日前迄に 電話又はメールで事務局へお申込み下さい。  
問合わせ先 TEL : 044-988-1757（事務局）

#### ■研修講演会「工芸の国 日本」

日 時 11月23日（火）14:30～16:00 町田市立国際版画美術館 講堂  
講 師 鶴見大学文学部文化財学科教授、前町田市立博物館副館長  
矢島律子先生  
会 費 1,000円  
参加申込締切 10月24日（日）  
参加申込先 メール machida.sado@gmail.com  
FAX 042-860-3863（青木）  
問合わせ先 090-9533-8162（青木）

#### ■「町田薬師池公園四季彩の杜 西園にて 紅葉を楽しむ茶会」

日 時 11月6日（土） 10:00～15:00  
会 場 町田薬師池公園四季彩の杜 西園  
芝生広場・ラボ体験工房（茶道体験）  
入席料 大人300円 小人100円 3歳以下無料  
事前申込 10月8日（金）正午～町田市11月4日（木）  
申込方法 町田市イベントシステム又は  
イベントダイヤルから



#### 野点を実施します

今回、茶会は14回目となります。今年は会場を変更し昨年4月に開園した町田薬師池公園四季彩の杜西園にて実施します。  
芝生広場からの眺めとお茶をお楽しみください。

## 一般社団法人 町田市文化協会

会 長：高 野 宗 佳  
住 所：〒194-0211 町田市相原町850-17  
T E L：042-779-0253  
E m a i l：machida.bunka@gmail.com